



高額データベース、本当に必要？

～失敗しない～

# Excel導入

プロが教える「システム選定基準」

株式会社セルネッツ



# なぜ、システム導入で「失敗」が起きるのか？

「高いお金を払えば安心」と考え、  
オーバースペックなシステムを導入してしまいます。



使うのは一部の機能だけ      和暦→西暦変換で20万円？

## 【よくある失敗例】

1. 多機能すぎて使いこなせない
2. システムに運用を合わせられなかった（イレギュラーが多い業態など不向きな場合も）
3. ちょっとした修正に"数十万円"の追加費用がかかった（バンダー・ロックイン）
4. 月額コストが重い・見合わない
5. 急ぎの不具合対応が困難

製造業など

# 大きく分かれる4つの選択肢～適合性が大事

## 1. SaaS（クラウドサービス）

[特徴] 月額制で安い。業務をシステム側に合わせる必要がある。

[向いているケース] 経理や勤怠など、標準化された業務。

## 2. パッケージソフト（既製品）

[特徴] 一括購入。特定の業界に強いが、カスタマイズが困難。

[向いているケース] 業種特化の基幹業務。

## 3. オーダーメイド開発（フルスクラッチ）

[特徴] 100%自社仕様。ただし開発費は数百万円～数千万円と高額。

[向いているケース] 大規模・複雑、かつ独自の基幹業務。



結局、どれが適合しているの？

## 4. Excel開発（VBA）

[特徴] 既存のExcel資産を活かせる。低コスト・短納期。修正が容易。

[向いているケース] 現場独自の細かい事務作業、Excel中心の部門単位のツール。

## 安易なデータベース導入が招く、失敗とは？

システムを導入する際は、「データをどこに格納するか」ということが重要です。その多くは、“データベース”という格納庫を導入する必要があります。しかし、表計算Excelは、Excelそのものがデータベース構造となっているので、“データベース”導入が不要です。



データベース(DB)導入開発		ExcelVBA開発（弊社）	
メリット		• データの信頼性が高い • 複数人での同時接続が可能 • 大容量データを管理できる	
デメリット		• カスタマイズが出来ないため、仕様の変更の都度、費用がかかる • データが可視化されずブラックボックス化し、ベンダー依存度が高まる	
料金	導入時	POINT1 約100万円～ DB構築 コストが約半額 DB構築 コストが不要 約30万円～	
	導入後	• 利用ライセンス料が 別途発生 • わずかな改修でも 費用発生 • 万が一の不具合に備え 保守加入が必須	
導入の流れ		POINT2 DB導入開発 ● ● ● ● ● ● ExcelVBA開発 - - - ● ● ● • Excelデータ移行計画など 貴社での社内調整が必須 (アクセス権限、ネットワーク接続設定など) • 既存のExcelデータ分析後 すぐに導入可能	
納期		POINT3 発注から 3ヶ月程度 Excel機能の併用開発により納期半減 発注から 1.5ヶ月程度	

① 同時利用者5名以内 ② データ件数10万件以下 ③ Excelサイズ10MB以下

3つを満たす小規模運用であれば、**Excel開発で充分**です。

## Excel業務効率化なら、最適解はVBA

VBAはExcel業務効率化に特化したプログラミング言語です。

「Excelがないと動かない」という制約はありますが、

その分、Excel業務においては他言語が追従できない圧倒的な強みを発揮します。

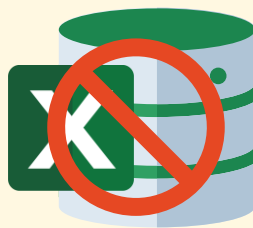
導入時発生コスト **最安**

### オーバースペックなど 心配無用



課題に着目するから  
機能過多などありません。  
シンプル操作が可能です。

### DB費用と設定作業 が0円



Excel自体が  
データベースとして機能するため、  
費用や手間を削減できます。

### 開発コストを 50%削減



高度なエンジニア人件費が  
不要なため、  
開発コストを最小限に抑えられます。

## 導入後の運用・メンテナンスコストもほぼ0円

VBAの真価は、高度なプログラミング技術ではなく  
**Excel知識**によって発揮されます。

導入後  
発生コスト **最安**

自由に  
カスタマイズが可能



軽微な改修であれば、  
追加費用**0円**で対応できます。

Excelがあれば  
追加コスト不要



利用ライセンス料やDB構築費など、  
他の発生費用は一切不要です。

影響調査も改修も  
容易だから低料金



わずかな改修でも高額に  
なりがちですが、VBAであれば  
費用を抑えて対応できます。

## 設立20年・Excel専門特化だから提供できる品質

アイミツや見積書だけでは分からない不安は、  
「お試し版 & 製品デモ」でしっかりチェックしていただけます。

発注前  
お試し評価で **安心**

### 1年間の動作保証を 無条件で



125項目にわたるテストを  
実施することで**品質を担保**します。

### Excelブック健康診断を 無料提供



ファイル肥大化、数式欠落など、  
**潜在リスクを事前に可視化**します。

### 改善・代替策を 無料でご提案

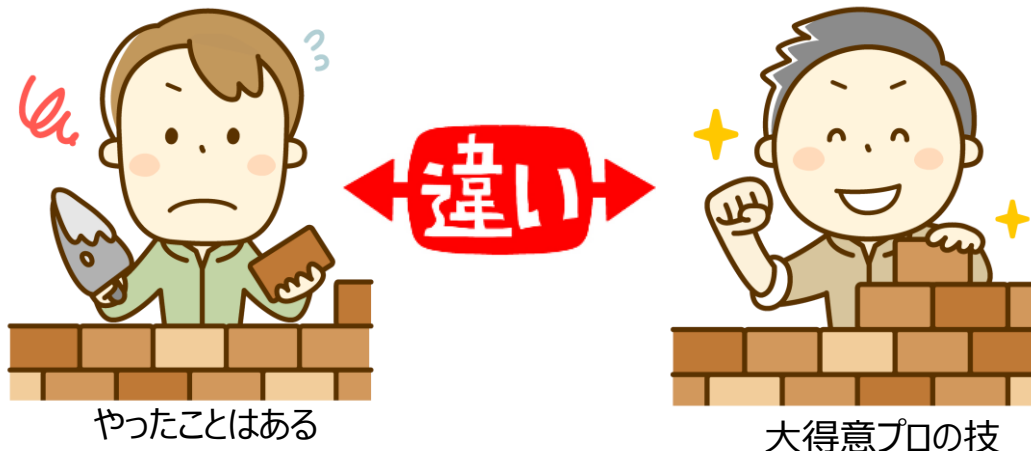


導入して終わりではなく、  
成果が出ない場合は  
**改善策を提案**します。



# Excel業務のシステム化は何故「専門医」が良いのか

それは、「Excel特有の落とし穴（バグ・仕様限界）」を熟知しているからです。



## Excel専門医の価値とは？

プログラム技術とExcel本体の健康診断は別のスキルです。

注意すべきExcel特有の不具合には、Excelゆえの「留意すべき病巣」が要因となっています。

例) 数式の欠落 / 外部リンクエラー / サイズ肥大化 / 残骸データ / 名前の定義エラー / クエリのごミ

**Excel業務の治療・措置なら、迷わず「専門医」にご相談ください。**



# 開発言語にみる比較表

開発言語	Excel VBA	Acess VBA	Python	C#	Java	補足
導入コスト	○	△	△	×	×	Excel VBAは既存環境で即開発に着手できますが、C#やJavaは環境構築やライセンス費用でコスト増となる
保守コスト	○	×	×	×	×	Excel機能の併用により、プログラミング依存度を下げ、保守コストを大幅に削減できます。これこそ、VBA最強の強みです。
不具合対応スピード	○	×	×	×	×	VBAによる不具合は再現性が高いため、圧倒的スピードで原因究明できます。これが大きな強みです。
拡張性	○	○	○	○	○	将来を見据えた設計力（DB、コード、リレーショナル）があれば心配無用です。
納期	○	×	×	×	×	特別環境が不要なVBAなら、たたき台リリースは最短翌日。類似サンプルも多数あり、驚異のスピードで納品可能です。
カスタマイズ性	○	×	×	×	×	「ユーザーがコードを触らずに、見た目や設定を変えられるか」という視点では、VBAに勝る言語はありません。
処理速度	○	○	○	○	○	VBAはメモリ処理により高速化できます。そのため「作り方」で大差が生じます。
WEB対応	×	×	○	○	○	VBAは出番なし。スマホも駄目。Macも駄目。VBA最大の欠点です。
導入時セットアップ	○	△	×	×	×	Javaの環境構築やフレームワークをセットアップなどExcelには必要ありません。
対応規模	極小	小	中・大	中・大	中・大	VBAは、CSV変換やOffice連携など、小規模な顧客管理システムなどに向いています。
エンジニア人件費月平均	30～50万円	60～80万円	60～80万円	60～90万円	90万円～120万円	シンプルな案件でも、エンジニア人件費が下がることはありません。



# 「高額なシステム投資は、本当に必要でしょうか？」

はじめまして、著者の竹本一道です。私はこれまで、大規模な基幹システムから中小企業のツール開発まで、**350社以上の現場**と向き合ってきました。

その経験から、確信を持って言えることが一つあります。それは、「**中小企業の業務改善に、数百万円もする大掛かりなデータベースは、ほとんどの場合不要である**」ということです。

多くの企業が、「Excelでは限界がある」という誤解から、過剰なシステム投資をしてしまっています。しかし、正しく設計されたExcel VBAシステムであれば、**低コスト・短納期で、現場が驚くほど使いやすいツール**を作ることが可能です。




[会社名] 株式会社セルネット

[代表者] 竹本一道

創業2007年。Excel VBA専門のシステム開発会社として19年の実績を持つ。「仕様書不要」「ブラックボックス化の解消」など、現場目線の柔軟な開発スタイルに定評がある。

無理なExcel化は勧めません。プロの視点から、  
「それはSaaSが良いですよ」、「それはシステムでは難しいかもしれません」、「それはExcelで十分です」  
（※Excelでは無理なご要望です）と正直にお伝えします。





参加費  
**0円**

**1社限定 / 60分**

## Excelなんでも相談会

こんなお悩み解決します

- ✔ こんなことExcelでできるの？
- ✔ 退職者マクロも保守できる？
- ✔ 経理事務の効率化の秘訣は？

他社の事例も紹介

詳細はこちら ▶

システム選定に迷ったら、まずは「Excelでどこまで出来るか」を知ることから始めてください。